

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 5月 12日

事業所名 事業所名 音楽療法センターコスモスキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	・事業所内には段差がない。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	・適宜ミーティングを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1	・1月に実地指導があり、改善に努めている。	職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・毎月研修を行っている。	毎月の研修内容を、希望を取りながら充実させていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・集団の場合相談しながら行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・子どもの状態に応じて行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	長期休みに特別グループや施設内イベントを行い、個別に課題を設定をしている。	職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	・保護者に相談しながら作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	・できるだけ話し合う時間を設けている。	職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	・記録を職員間で共有するようにしている。 ・終了後にできない場合は次の開所日やミーティングで行っている。	職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・正確に記録をつけることを心掛けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	3	・相談支援員を介して情報を共有している。学校でのカンファレンスに参加している。 ・保護者に学校での様子を尋ねている。	職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	・保護者に確認しながら行っている。 ・現在医療ケアが必要な児童の利用がない。	保護者同伴なので情報を共有する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4	・相談支援員を介して情報を共有している。 ・児発管が行っているのか、情報共有しているのかわからない。	相談支援員を介して、積極的に情報共有し、その内容を職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5	・努力していきたい。 ・児発管が行っているのか、情報共有しているのかわからない。	障害福祉サービス事業所と連携し、情報提供できるよう努力していきたい。職員間でコミュニケーションを取り、情報を共有する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	・児発管が行っているのか、情報共有しているのかわからない。	吹田市の機関支援等を利用していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	・年に1回参加型のコンサートの機会を作っている。	コロナ禍でできていなかったが、今後クリスマス会などのイベントを実施していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	・今後参加していきたい。	今後の日程を確認し、積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・保護者と話す時間を設けている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4	・情報があれば伝えていきたい。 ・年に数回、保護者交流会を行っている。 ・ペアトレは行っていない。	職員が外部研修に積極的に参加し、今後、機会を作れるように努力していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・保護者と話す時間を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	・保護者会を定期的に行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・ミーティング等で共有している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・数か月に1回、通信を発行・LINEでお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・保護者と話す機会を設けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	・今後検討していきたい。	コロナ禍でできていなかったが、今後クリスマス会などのイベントを実施し参加を呼び掛けていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	・ミーティング等で共有している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・定期的に職員で共有している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・研修を受けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	6	・食事の提供は行っていない。 ・必要であれば保護者から聞くこともある。	基本的に飲食の提供は行わない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	・ミーティング等で共有している。	